



わらしこ 9月の園だより

今はまだ手がかかる。でも、その先には。

長かった夏休み、お盆休みも終わりましたね。小学生以上のお兄ちゃん、お姉ちゃんがいるご家庭では、お弁当作りや宿題のサポート、生活リズムの管理など、仕事や下のお子さんの育児と重なり、大変だったことと思います。本当にお疲れさまでした。

最近、わらしこでは、卒園した子どもたちがいろいろな形で園へ帰ってきてくれる機会が増えています。中学生になって職場体験に来てくれる子、保育実習で今度は先生として子どもたちに関わる子、「インターハイで優勝したよ！」と嬉しい報告を届けてくれる子。それぞれの場所で頑張っている卒園児たちが、時折園へ顔を見せてくれます。園児だった頃を知っている私たちにとって、その成長した姿はとても嬉しく、頼もしいものです。

そんな卒園児たちを見ていると、今わらしこで過ごしている子どもたちの「その先」も少し見える気がします。今は着替えを手伝ったり、ご飯を食べさせたり、登園の準備をしたりと、まだまだ大人の手が必要です。でも、そんな子どもたちも、やがて自分の好きなことを見つけ、自分で進路を考え、少しずつ自分の世界へ歩いていきます。

子育ての大変さは、ずっと同じ形で続くわけではありません。今、手をかけている一つ一つも、いつか子どもが自分でできるようになるまでの途中です。数年後、十数年後、成長した我が子はどんな話を聞かせてくれるのでしょうか。卒園児たちの頼もしい姿を見ながら、今いる子どもたちのこれからも、ますます楽しみにになりました。



暑いから外に出ない？ 暑いからこそ遊べる環境を。

「一年の半分以上が夏？」と思うほど、今年も暑い日が続いています。暑さから子どもを守ることはもちろん大切。でも、これから毎年長い夏を過ごす子どもたちにとって、ずっと冷房の効いた室内だけで過ごすことが答えとも限りません。

わらしこでは今年も、園庭を広く覆う日除けネットを設置し、上からはシャワーミストが降り注ぐようにしました。比較的涼しい朝の時間帯を選び、その日の暑さや子どもたちの体調を確認しながら、短時間でも外へ。水遊びや泥遊び、セミとり、かけっこなどを楽しんでいます。

暑さを我慢するのではなく、無理のない範囲で少しずつ暑さに身体を慣らしながら、夏にも元気に活動できる身体を育てていく。そのためには、子どもに無理をさせるのではなく、**まず大人が「遊べる環境」をつくる**ことが大切だと考えています。

暑い日が長くなった今だからこそ、暑さをただ避けるだけではなく、安全に付き合う方法も考えていきたいですね。ご家庭でも涼しい朝に少し散歩をしたり、一緒にゴミ出しへ行ったり。無理のない小さな外遊びから始めてみてはいかがでしょうか。



わらしこまつりで、
子育て仲間を一人増やしませんか。



9月は、子どもたちが楽しみにしている「わらしこまつり」です。太鼓や盆踊り、お店回りなど、子どもたちの笑顔があふれる一日になります。でも、このおまつりは子どもたちだけの行事ではありません。

送迎時間が違えば、同じクラスでも保護者同士がゆっくり話す機会は意外と少ないものです。「いつも一緒に遊んでいる〇〇ちゃんのお母さんだ。」「こんなお友だちと毎日遊んでいるんだ。」そんな小さな出会いが、子どもの世界を知るきっかけになります。

当日はぜひ、お子さんのお友だちや保護者の方へ一言声をかけてみてください。子育ての楽しさは分け合うとずっと大きくなり、悩みは相談できる相手がいるだけで少し軽くなります。わらしこまつりが、『わらしこから広がる子育ての輪』を育む一日になれば嬉しく思います。